

食育事業取組報告書(東豊小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	4年 6月～10月
教科名	生活	指導者	1 東豊小学校 2年生担任 石橋翔子 佐藤洋子 富樫恵子 佐藤穠理 2 地域ボランティア7名
単元名	やさいを育てよう		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の世話や収穫を通して、生長の喜びや食物を大切に作る心育てる。 自分たちが育てた野菜を収穫し、お世話になった方へ感謝の気持ちをもつことができる。 		
	児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
	<ul style="list-style-type: none"> ○事前指導・準備など ○苗を植える ○育てる ○観察する ○食べる ○感謝の気持ちをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアの野菜の先生方に、畑のうね作りをしていただく。 ・児童に野菜を育てることを話す。 ○地域ボランティアの野菜の先生方に野菜の植え方を教えていただきながら、苗植えをする。 ・苗を植えるポイントや水のやり方についてお話を聞く。 ・苗をポットから取り出し、畑に植える。 ○毎朝、畑に行き、水やりをする。 ・野菜に声をかけながら愛情をもって育てる。 ○国語「かんさつ名人になろう」の学習と関連させ、観察した野菜の様子を絵と文で表す。 ・生長の過程がわかるように、実がなるまで、3・4回観察 ○生活科の時間に、野菜を収穫する。 ・収穫した野菜は、お家に持ち帰る。 ○地域ボランティアの野菜の先生方に感謝の気持ちを込めて、手紙を書く。 	
成果と課題	<p>育てた野菜を収穫し、食べることで、野菜を育てる楽しさや収穫の喜び、世話の大変さを実感し、食育の推進を図ることができた。(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の中には、「野菜が苦手」と感じている児童もいたが、自分の手で育てることを経験し、好き嫌いなく食べようという意識が高まった。 ・野菜の先生と子どもたちとの関わりが、少なかった。育てる上で困ったことを相談するなどして、定期的に連携をとり、育てていくことができると良い。(課題) 		
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の先生方を地域から募り、苗の植え方や育て方を指導していただき、地域の方との繋がりを深めることができた。感謝の手紙を書き、届けることができた。 ・学級だよりを通して、学習内容を写真と共に、家庭に伝えた。 		